

『基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ (ESBL) 産生腸内細菌科細菌菌血症症例における de-escalation までの期間と治療予後の関連性』

【目的】 基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ (ESBL) 産生腸内細菌科細菌菌血症の患者さんにおける早期の抗菌薬変更が治療有効性に影響を与えるかを検討すること

【期間】 研究許可日～2020 年 9 月 22 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2016 年 4 月 1 日から 2020 年 2 月 29 日までに当院において、血液培養にて ESBL 産生腸内細菌科細菌が検出された患者さん

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、臨床検査値 等

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 薬剤部 ・ 副薬剤部長

研究責任者 中蔵 伊知郎